

宿泊研修旅行 報告

参加者

萩原 聡 (西高・校長)
 長津 美明 (杉野学園)
 牧下 英世 (芝浦工業大学)
 竹村 精治 (東京理科大学)
 田神 仁 (法政大学)
 武山洋二郎 (教職員研修センター)
 矢嶋 邦男 (和算研究所)
 吉田 亘 (江北高)
 飯塚 京子 (武蔵丘高)
 鈴木 博子 (杉並工業高)
 高寺 寛樹 (教育相談センター)
 山下 雅也 (晴海総合高)
 今井 陽一 (大江戸高)
 並木 康訓 (葛野野高)
 片江 康裕 (科学技術高)
 西川 真吾 (足立工業高)

2 日目は朝食後、研究協議を行った。2 日目のテーマは「授業改善に向けた取り組みについて」と設定した。先生方が普段の授業で実践されている取り組みを共有することをねらいとした。1 時間強の研究協議が大変短く感じられ、数学教育へのさらなる研究が必要であると実感した。

ホテルをチェックアウト後、鬼怒川温泉街を散策し、昼食をとった。SL 大樹が転車台に入線するのに合わせて鬼怒川温泉駅に集合し、下今市駅まで SL 大樹 4 号に乗車した。



日光江戸村とのコラボレーションにより、SL 乗車中、沿線に侍や商人といった個性豊かな江戸の住人たちが出現し、車窓を演出してくれた。

下今市駅からは特急スペーシアにて浅草へと戻り、解散した。その後、有志メンバーにてカラオケを楽しんだ。



今年も恒例の宿泊研修旅行を行った。今回は西川真吾(足立工業高)の企画運営のもと、16名が参加した。以下概要を記す。

1. 主な行程

平成31年2月9日(土)から1泊2日で実施した。東武鉄道・浅草駅に8時に集合し、特急スペーシアけごん9号にて東武日光駅に向かった。

到着後、徒歩で日光東照宮に向かった。非常に寒く、雪が降る場面もあったが、平成29年に改修を終えた国宝「陽明門」をはじめ、「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿、眠り猫などの彫刻に圧倒されながらの拝観となった。

昼食は「あさやレストハウス」にて彩りゆばランチを頂いた。昼食後、東武日光駅から鬼怒川温泉駅まで電車で移動し、宿泊先の鬼怒川ロイヤルホテルにチェックインした。

すぐに研究協議会を実施した。新学習指導要領を受け、1日目のテーマを「主体的・対話的で深い学びについて」と設定した。自己紹介に続き、各先生方の資料を基にした活発な議論が行われた。

研究協議終了後は、鬼怒川温泉を満喫したり、部屋で数学教育を語り合ったりして過ごした。

夕食会はバイキング形式で、各自が好きなものを好きなだけ頂いた。特に自分で具材を選ぶ一人鍋が好評であった。

夕食会の後、全員で集合写真を撮影し、大部屋にて夜の懇親会を行った。様々な先生方と徹底的に意見交換することができ、大変勉強になった。これは研修旅行の伝統であると言える。遅い時間まで非常に盛り上がり、親睦を深めることができた。

文責：西川真吾 (足立工業高)